

がん助・グー子の

がんについて



私たちは「宮城県がん征圧イメージキャラクター」の「がん助」「グー子」です。「がん」のこと、皆さんにもっと知ってほしいなあ…。

「がん」は、本県では昭和59年から死因の第一位です。最近では年間約6千人が「がん」が原因で亡くなっており、高齢化によって死亡率も増加しています。

このため、県では平成25年3月に「第2期宮城県がん対策推進計画」を策定し、がん対策を実施することになりました。正しい知識を持ってがんを予防するとともに、県内19カ所の「がん相談支援センター」を活用してがんに対する理解を広げ、「がんになっても自分らしく暮らせる社会」をみんなで作っていきましょ。

がんの最大の原因は喫煙！

がんの罹患(り)かん)には、喫煙(受動喫煙を含む)、食生活、運動などの生活習慣(※)、ウイルス・



がん対策の主役は皆さんです

がん対策の主役は県民の皆さんです。喫煙、食生活、運動その他の生活習慣が、がんの罹患(りかん)に大きく関わっていることなど「がんに関する正しい知識」を持ち、「がんの予防」「がん検診の受診」「治療を受ける際の医療従事者との信頼・協力関係の形成」など、がんに対して主体的かつ積極的な行動に努めることが必要です。

自分らしく暮らせる社会を

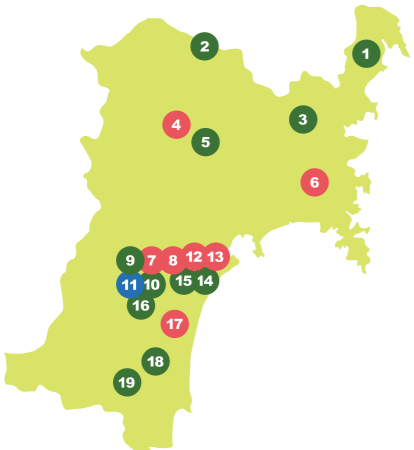
がん患者の方々は治療に伴う身体的な苦痛だけでなく、不安感に伴う精神的な苦痛を抱えています。また、その家族の方々もさまざまな苦痛を抱えています。さらに、がん経験者の中には、就労などを含む社会的な問題に直面している方も数多くいらっしゃいます。がん患者・家族・経験者の方々をみんなで支え、がんになっても自分らしく暮らせる社会をつくっていきましょう。

がん相談支援センター
TEL 022(211)26688
FAX 022(211)26677

「がん相談支援センター」をご利用ください



がん相談支援センター
宮城県内19カ所
入院・通院していない病院でも相談する事ができます。



医療技術の進歩が著しく、さまざまな情報があふれている中で、がん患者や家族の皆さんが医療機関や治療の選択に迷う場面も増えています。「がん相談支援センター」は、「がん診療連携拠点病院(※)」などに設置されており、がん患者やその家族のほか、どなたでも無料で利用できます。専門的ながん医療を提供するために国が指定した病院で県内に7カ所あります。連絡先については下の一覧表をご覧ください。

- | | |
|---|--|
| 1 気仙沼市立病院 (気仙沼市)
電話：0226-22-7100 (代) | 11 宮城県がん総合支援センター (宮城県対がん協会内/仙台市青葉区)
電話：022-263-1560 (直) |
| 2 栗原市立栗原中央病院 (栗原市)
電話：0228-21-5330 (代) | 12 仙台医療センター (仙台市宮城野区)
電話：022-293-1118 (直) |
| 3 登米市立登米市民病院 (登米市)
電話：0220-22-5511 (代) | 13 東北薬科大学病院 (仙台市宮城野区)
電話：022-259-1221 (代) |
| 4 大崎市民病院 (大崎市)
電話：0229-23-3311 (代) | 14 仙台オープン病院 (仙台市宮城野区)
電話：022-252-1111 (直) |
| 5 永仁会病院 (大崎市)
電話：0229-22-0063 (代) | 15 仙台市立病院 (仙台市若林区)
電話：022-266-7111 (代) |
| 6 石巻赤十字病院 (石巻市)
電話：0225-21-7220 (代) | 16 宮城社会保険病院 (仙台市太白区)
電話：022-306-1740 (直) |
| 7 東北大学病院 (仙台市青葉区)
電話：022-717-7115 (直) | 17 宮城県立がんセンター (名取市)
電話：022-381-1155 (直) |
| 8 東北労災病院 (仙台市青葉区)
電話：022-275-1111 (代) | 18 みやぎ県南中核病院 (柴田郡)
電話：0224-51-5500 (代) |
| 9 仙台厚生病院 (仙台市青葉区)
電話：022-222-6181 (代) | 19 公立刈田綜合病院 (白石市)
電話：0224-25-2145 (代) |
| 10 東北公済病院 (仙台市青葉区)
電話：022-227-2211 (代) | |
- がん診療連携拠点病院 ●その他の病院の相談窓口 ●病院以外の相談窓口 (平成25年7月現在)

がん情報みやぎ
http://cancer-miyagi.jp/
がん情報みやぎ 検索

東北大学病院が運営するウェブページ「がん情報みやぎ」は、宮城県内の医療情報や患者会情報、がんに関するイベントなどのがん情報を掲載しています。「がんって何?」という基礎知識から、診断・治療方法、「がん体験記」もあります。ぜひご覧ください。

- まめちしき 1 検診車による組織的な胃がんの集団検診を日本で最初に始めたのは宮城県(昭和35年)。
- まめちしき 2 宮城県は、がんの罹患(りかん)などを記録する「地域がん登録」を昭和34年から実施しており、国際がん登録協議会において我が国で唯一表彰を受けました(平成24年)。

本県における喫煙率

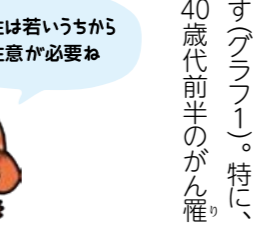
習慣喫煙者率(男性) **41.4%**
(全国平均値37.2%)
全国ワースト9位!*
職場などでの受動喫煙経験**
男性:**58.2%** 女性:**26.5%**
*1 出典「都道府県別の肥満及び生活習慣の状況」(厚生労働省)
*2 出典「平成22年県民健康・栄養調査」



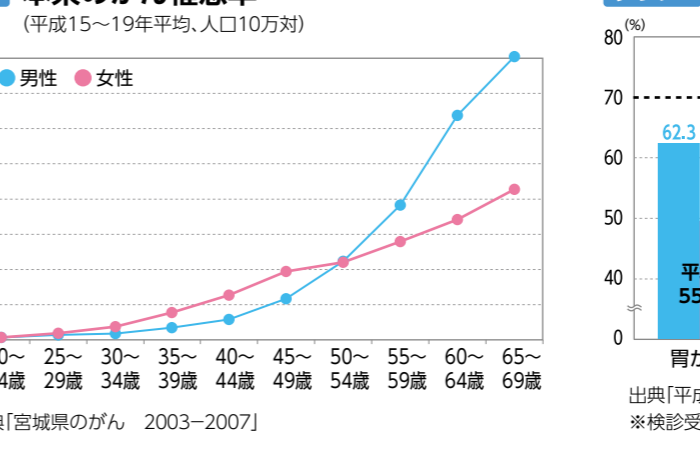
科学的に有効性が認められている「胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん」検診については、県内全市町村で実施していますので、お住まいの市町村にぜひお問い合わせください。お問い合わせについては、勤務先で実施している場合もあります。

市町村検診職場検診を受けましょ

技術の進歩により、一部のがんは早期発見、早期治療が可能となってきました。がんを早期に発見して、早期に治療につなげるにより、がんによる死亡を減少させることができます。がんを早期に発見するためには定期的ながん検診を受けることが重要ですが、現在のがん検診受診率は52%(大腸がん検診)68.5%(肺がん検診)にとどまっております。女性のがん検診受診率は男性に比べて低くなっています(グラフ)。特に、女性は若いうちから注意が必要ね



グラフ2 本県のがん罹患率



グラフ1 本県のがん検診受診率

